



発行所一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会  
発行者 甲田 裕  
〒852-8104 長崎市茂里町 3-24  
長崎県総合福祉センター 県棟 4F 408号  
Tel : 095-846-8730 Fax : 095-846-8738  
E-mail : ikuseikai-tewo@k5.dion.ne.jp

# 平成 26 年度役員研修会 開催される



長崎県手をつなぐ育成会の役員研修会が、2月13日（金）長崎市虹が丘にある道の尾病院内のみちのおホールで開催され県内各地より110余名の参加がありました。今回は3人の方の講演があり、一つひとつがとても有意義で心打たれる内容が多く、大変充実した研修でした。（講演の内容や感想については2、3ページに掲載しております。）

## 研修会次第

- 〈 開会のあいさつ 〉  
長崎県育成会会長 甲田 裕
- 〈 研修 〉
  - ①講演「地域で暮らす」  
講師：くららべーかーい  
施設長 石倉 泰三 氏
  - ②講演「障害者サポーター制度を始めて」  
講師：熊本市障害保健福祉課  
主任主事 山本 章之 氏
  - ③講演「地域福祉を考える  
～障がい者権利条約との関連から～  
講師：長崎国際大学 社会福祉学科  
准教授 高島 恭子 氏
- 〈 閉会のあいさつ 〉  
長崎県育成会副会長 谷 美絵



石倉泰三氏



山本章之氏



高島恭子氏

## 《役員研修会を考える》



社会の変化に追従していくこと、新しい空気を感じて欲しいとの願いを込めて、この数年間テーマを絞り込んだ「役員研修会」を行ってきました。今後も、アンテナを高くして「地道に活躍され、地域で貢献されている方」を講師として呼び出せるよう心掛けたいと思っています。

また、「研修会名称」や夕方の懇親会の在り方等についても気軽に参加できる形態に改善が図れないか検討してみたいと考えていますので、皆さんのアイデアをお待ちしています。

平成26年度長崎県手をつなぐ育成会役員研修会報告

○午前の部は「地域で暮らす」というテーマで、神戸市長田区で20年以上に渡り、障がいのある仲間とともに地域の人たちを巻き込んで、いきいきと暮らしている石倉さんご夫妻のお話でした。

※講話の詳細は次ページに掲載しています。

○午後の最初の講演は熊本市の「障がい者サポーター制度」のお話でした。「障がい者サポーター制度」とは、熊本市が地域社会で障がいのある人が安心して安全な生活を送れるようにサポートしてくれる人たち（個人・企業）を育成していく事業で全国に広がりつつあるようです。シンボルマークコンテストやサポーター研修会、出前講座、市職員向け研修会、障害者施設の商品開発などを、斬新なアイデアと熱意あふれる思いで進めて行かれる講演者熊本市職員の山本氏の姿には頭が下がりました。私たちの地域でもこのような活動を展開していくために、育成会でできることを実践していかなければなりませんね。最後に「この仕事に情熱を持てるのは当事者（本人や家族）が喜んでいただけるからです。」と力強く温かい言葉で締めくくられました。

○最後の講演は、長崎国際大学准教授高島恭子氏より「障害者権利条約」「障害者基本法」「障害者総合支援法」などの障害のある方に関わりのある法律をわかりやすく話していただきました。それぞれの法のもとには委員会や数々の事業や計画が設置されていますが、これらが絵に描いた餅にならないように、地域を変えていく仕組みとなるためには、参加すること、声を上げること、発信すること、啓発すること、仲間を増やすこと、若者を育てること、行動することだと思いました。

「人と人とのつながり」

＜ 長崎市手をつなぐ育成会 岩崎 文枝 ＞

長崎県手をつなぐ育成会の役員研修会に行ってきました。役員ではありませんが行ってよかったです。午前の部の神戸市長田町でパン屋さんを開業している「くららベーカリー」の施設長 石倉泰三さんの講演は感動的でした。障害のある子を持った時の衝撃や落ち込みを乗り越え、積極的に障害のある人たちとのかかわりを深めていき、会社を辞めて「くららベーカリー」を人と人とのつながりの中で立ち上げたこと。やっと軌道に乗り始めた「くららベーカリー」が神戸淡路大震災で頓挫しかかった時、瓦礫の中をリュックを背負い歩いてきた仲間(利用者の方を石倉さんは仲間と言われています。)「早よ、パン焼こう。」の一言で炊き出しのパンを配り始めた時、もらった人々が感謝してくれたこと。仲間たちも喜びそして日々自信を付けていく様子を見て、仲間たちは社会に守られるだけの存在ではなく、社会に働きかけることで社会を変える事ができる大きな存在なのだと知ったことなど。涙交じりのお話しに共感し直接ご本人から聞く楽しさに触れました。そして、身の回りの人とのつながりを強め広げていくことが、仲間たちの生きていく広い道になる。また、頑張ろうと決意を新たにしました。

「地域に根ざした取り組み」

＜ 佐世保市手をつなぐ育成会 初瀬 富美子 ＞

障がいのある娘の親となり、積極的に参加するようになった親の会で「養護学校卒業しても行くところがないねん！」という言葉聞き、作業所を作ろう！パンをつくろう！と決心したそうです。それからの道は大変だったようですが、石倉さんご夫妻の多大な努力と熱意によって「くららベーカリー」が誕生しました。長田区で12～3カ所ある作業所と、近隣の4校の小学校が一緒になっての体験学習や、企業での社員研修も行っているなど、自分たちの利益だけでなくみんなの幸せを願い、地域の中で触れ合いながらいきいきと生きている、そして地域に根ざしたいろいろな取り組みをされていることに感銘を受けました。「支援される側でなくお役に立てること、貢献していけることが大事、そして障がいのある人もない人も協力して行くことが自然である」と話された言葉が心に残りました。私たちも親同士の交流の場を通じ、地域の人たちを巻き込んで、もっともつなぐを深めていけたらと思いました。その為には場づくり(たまり場づくり)、そしてそれを継続していくことが大事だと感じました。

## 『地域で暮らす』



障害者が地域で安心して暮らすためには、地域のニーズに則した福祉サービスの構築が如何に出来ているのか、または、その計画が具体化しているかが問われているように思います。

今、県・市及び町では「第4期障害福祉計画」の作成に向けて市民の皆さんの声を施策に反映するため、パブリックコメントが実施されています。皆さんの意見を行政に！（この記事がお手元に届く頃には、計画書として纏める段階かもしれません）

当会では、年度の後半に「長崎県手をつなぐ育成会役員研修会」を行っていますが、今年は“地域福祉を考える”をテーマに「地域で暮らす」と題して、神戸市で活躍されておられる“くららベーカリー”石倉泰三氏をお招きし、阪神淡路大震災から20年の歩みを語って頂きました。

石倉夫妻には、障害がある今年38歳となる長女“愛”さんがおられますが、娘さんを含めた活動の場づくりとして、敢えて“神戸のまち”においてパン屋さんを震災の前年にあたる1994年市場の空き店舗でオープンされました。しかし、翌年の大震災で全壊に近い被害を受けられたものの、利用者からの「石倉さん、早よパン焼こう」の声に励まされ、障害者・全国から来られたボランティアさんと共に、被災者に「暖かいパン」を提供することで、障がいのある人も支援する立場にもなれるという、当事者の歓喜・社会貢献ができた喜びなどについて紹介を頂きました。



震災復興の過程で「区画整理」にあい、新しい「くららベーカリー」の土地を求めて、奮闘するも地域住民から遠まわしに「障害者に来てもらっては困る」と反対され、土地探しのご苦労された経過には、「障害者差別解消法」の附帯決議に盛り込まれた「グループホームの設置については、行政が責任を持って地域住民に説明する」と重なり、「地域づくり」の難しさについて語られ、この点については、これからも取り組まなければならない課題と提起を頂きました。

山田洋二監督「男はつらいよ 第48作 寅次郎紅の花」（1995年12月公開 渥美清氏の思い出の作品）には、震災の復興の姿が描かれています。「パンの製造・販売をする障害者の作業所を運営する石倉泰三・悦子夫妻が山田監督へ送った手紙」が山田監督の心を捉え、「くららベーカリー」がモデルとして使われるなど、当事者と石倉夫妻には忘れられない1ページとなったようです。



講話の最後には、地域の小学校との交流を通して「障害者を意識しない交流を」目指されているとお話しをしていただきました。この活動は、生徒さんが「パン工房で体験する」「当事者の小学校の訪問」など14年続けている様子を紹介して頂きました。中学校で開かれたバザーでは、「パンは売れない」との判断で、予定の半分を準備していったところ、あっという間に売り切れとなり、申し訳ない出来事などの紹介を頂きました。

長い間の積み重ねと、信頼・連携・感謝が「くららベーカリー」を支えていることが痛い程伝わる講話でした。「地域づくり」には時間をかけていくことの大切さを学ぶ機会となりました。

（甲田 裕）

ながさき **LOVE** 地域で育成会! **がんばってま〜す!**

**対馬市育成会**

私たち対馬市手をつなぐ育成会は「親も子も安心して暮らすことができる地域生活の実現のため障害のある人と共に本人主体の地域福祉を目指します」をテーマに掲げて三原会長を中心に日々努力を重ねています。

《対馬市手をつなぐ育成会の歩み》

昭和50年 厳原町育成会結成  
 昭和51年 上対馬町育成会結成  
           上県町育成会結成  
 昭和52年 豊玉町育成会結成  
           美津島町育成会結成  
           峰町育成会結成  
 ↓  
 平成16年3月 「対馬市手をつなぐ育成会」となり現在に至っています

《年間の主な活動》

4月 監査、理事会・評議委員会  
 6月 県育成会理事会参加  
       県育成会定期総会参加  
 7月 野外活動(海水浴)  
 11月 ふれあいスポーツ大会  
       対馬市育成会研修会  
       地域をつなぐ推進会議  
       県育成会理事会参加  
 2月 県育成会役員研修会参加



育成会研修会



研修会後のパークゴルフ



野外活動 (海水浴)



野外活動 (海水浴)



ふれあいスポーツ大会



## 長崎がんばらんば大会(ソフトボール競技)について報告

大会初日、がんばらんば大会の開会式を終え、大村市総合運動公園のソフトボール競技会場へ向かいました。初戦の相手は、大会2連覇中の岡山県と決まっておりましたので、望むところだとばかりに『みんなで声を出して行こう！チーム全員なりふり構わずやろうや！』と意識を高めて試合に挑みました。

試合は小雨の降る中、多くの方にご来場頂きまして、対岡山県戦が始まりました。

序盤から、多数の応援に緊張したのか、声も出ておらず、投手の近藤選手も制球に苦しみ、1回の表裏が終わった時点で5-0、その後もいつもの長崎県チームらしさはないまま3回1

0-0コールド負けとなってしまいました。

夏にがんばらんば大会を見据えて岡山県まで遠征に出かけ、練習試合を行った際には3-3と引き分け、あと少しでサヨナラ勝ちという試合展開で、選手もコーチ陣も大変手応えを感じていたのですが、本大会では大差がつく結果となってしまいました。

今大会に照準を合わせ数年間練習してきましたが、相手が優勝候補とはいえ、緊張からなのか、プレッシャーからなのかわかりませんが、初戦で敗退して交流戦へ進む事となり、チーム内でも非常に重苦しい空気となりました。

しかし、『雨の中にも関わらず沢山の方々が応援に来てくれているのに、投げ出すような試合は絶対にできないぞ。悔しさを明日の交流戦にぶつけてやろう！』と選手達にも声をかけ奮起を促しました。そして私自身にも言い聞かせました。

翌日の交流戦では、選手達も前の日とはうって変わって、交流戦初戦の福岡市戦では3回13-3コールド勝ち、2戦目の宮城県戦では12-3で勝ち、終始、長崎県チームの流れで試合を展開することができました。

大会に向け選手達も懸命に努力してまいりましたし、お世話頂いた方々へは結果を出して恩返ししたいと考えておりましたが、残念ながら恩返しができませんでした。

監督として、申し訳なく思っております。しかし、選手達がこれまで頑張ってきた努力は認めてあげたいと思いますし、その頑張りがソフトボールだけに限らず、今後の彼らの人生にも繋がるものと思っております。ソフトボール関係者のみならず、多くの方々にご支援、ご協力を頂きまして大変感謝いたしております。ありがとうございました。

《長崎県ソフトボールチーム監督 小川 勇己》



「トラブルシューター(TS)養成セミナー・アドバンスコース」開催がされました！



昨年12月6日に「TS養成セミナー・アドバンスコース」が道ノ尾病院さくらホールで開催されました。今回は、昨年実施した基礎編を研修した人の中から約50名が県内各地から集まり研修を受けました。まず、白梅学園大学教授の堀江まゆみ氏の「相談支援の役割と連携」というお話があり、

引き続き、長崎地域生活定着支援センター所長の伊豆丸氏から「明日に活かせるトラブルシューター実践編」の講義の後、午後から早速「架空事例検討会」と題して4つのグループに分かれて討議を実施しました。その後、各グループの討議内容をまとめて代表者が発表し、それぞれの講師からのアドバイスがあり、とても有意義な研修となりました。最後に伊豆丸氏の「私が日々大切にしていること」のメッセージで終了しました。来年度以降の研修の進め方については、次号でお知らせします。(三村)

※架空事例検討会のグループリーダーとして、上記2名の講師のほか、トレーニングセンターあいりん事業部長の宇野光央氏、指定更生保護施設「雲仙・虹」施設長の前田泰弘氏の支援をいただきました。



## 平成27年度長崎県育成会年間計画(案)

事業等の関係で変更になることがあります。

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4	17	金	長崎県育成会事業所連絡協議会	10	24	土	} 第15回全国障害者スポーツ大会
	22	水	家族支援部会		25	日	
	24	金	権利擁護セミナー(福岡市)		26	月	
5	10	日	第1回本人部会「きずなの会」	11	7	土	地域をつなぐ推進会議(壱岐市)
	21	木	県育成会監査		20	金	第3回県育成会理事会
	31	日	第15回県障害者スポーツ大会		29	日	第3回本人部会「きずなの会」
6	5	金	ゆうあいスポーツ大会名簿校正	12	3	木	知的障害者就労支援セミナー
	6	土	第1回県育成会理事会		6	日	第16回長崎県障害者芸術祭(雲仙)
	20	土	長崎県育成会定期総会		12	土	地域をつなぐ推進会議(佐世保市)
			第2回県育成会理事会	1	16	土	トラブルシューター研修会(予定)
7	3	金	知的相談員研修会(県北地区)		23	土	地域をつなぐ推進会議(新上五島町)
	11	土	地域をつなぐ推進会議(諫早市)	2	3	水	障害者110番無料法律相談(時津町)
	14	火	ゆうあいスポーツ大会最終名簿校正		10	水	役員研修会
	24	金	知的相談員研修会(県南地区)		17	水	障害者110番無料法律相談(雲仙市)
8	2	日	第2回本人部会「きずなの会」		20	土	} 事業所協議会全国大会(千葉)
	29	土	} 第55回九州地区育成会福岡大会		21	日	
	30	日					
9	13	日	第35回ゆうあいスポーツ大会(諫早)		24	水	無料法律相談(平戸市)
	26	土	} 第2回全国育成会連合会全国大会(名古屋大会)		26	金	家族支援フォローアップ講座
	27	日					
10	17	土	地域をつなぐ推進会議(島原市)	3	2	水	障害者110番無料法律相談(長与町)
	20	火	ゆうあいスポーツ大会反省会		11	金	第4回県育成会理事会
					16	水	無料法律相談(対馬市)

## 平成26年度 賛助会員 (3月3日現在 敬称略)

本年度も長崎県手をつなぐ育成会へのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

富岡 勉	社会福祉法人 長崎慈光園	白川 利勝	多機能型事業所 であいの家	森 和行
加藤 寛治	みさかえの園あゆみの家	中島 コト	佐世保市立 おおぞら作業所	吉木 利徳
高木 義明	社会福祉法人親愛会 あったかさん21	山口 文広	多機能型事業所 きらら	山下 順子
	対馬こども療育デイサービスセンター	須賀 博司	千草野学園	桑原 節子
川崎 祥司	株式会社 おばまの森	森 久之	就労継続支援事業所のびのび	丸田 竜宏
深堀 浩	あじさいの家	大平 博幸	ネットワークセンターひかり	菅 敏洋
ごう まなみ	すずらん	水城 勝継	銀の星学園	永代 秀顕
外間 雅広	サンビレッジ	竹内 浩三	明けの星寮	永代 秀二郎
吉村 洋	(特)燦々クラブ	沖永 ちえみ	清華学園	蒲池 興照
楠 大典	社会福祉法人 長崎博愛会	宮内 雪夫	ライフステーション	森 誠
山口 初實	松光学園	本田 和弘	つくし学園	山口 ヨシ子
中村 和弥	光のフェアリー	竹内 隆伯	諫早ワークス	志賀 正幸
松本 洋介	つくしの里	野崎 由美子	しらぬい学園	武藤 養一
山田 博司	みさかえの園第二めぐみの家	齊木 初江	大村さくらの家	原口 健一
瀬川 光之	きぼうの里	福田 剛武	キッチンあい彩館	中山 潤一郎
中島 浩介	障害者支援施設 こざくら学園	井石 美穂子	社会福祉法人 三彩の里	江口 司
三好 徳明	障害者支援施設 あけぼの学園	志賀 稔	たんぼぼの里	山口 文広
中島 廣義	社会福祉法人 長崎慈光園	白川 利勝	ワークプラザ松浦	大久保 ひろ子
	カレッジ ながさき	長谷川 正人	壱岐國の里	立石 吉一
	社会福祉法人民生会	松田 正民	(福)結の会	松本 孝
	ライフステーションすばる	小林 天	ワークハウスほのぼの	米田 真喜
	社会福祉法人 恵風会	高濱 浩	杉の木ホーム	須賀 博司
	ワークセンターほたる	田中 信春	あゆみ園	財部 久仁信
	ハーベストキッチン	原田 正	(特)五島あすなろ会	土岐 達志
	長崎基準寝具有限会社	森田 泰	ほっとホーム富希	川元 恵
	ワークセンター	大内田 信之	ふじ学園	杉 秀宣
	夢工房みどり	山田 順子	五島市はまゆう福祉作業所	榎津 君子
	NPO法人障害者就労支援センター	伊達木 百合子	互隣の家	古庄 正輝
	わーくあぐり	阿部 百合子	ワーク&ケアセンター あいの	溝田 民弘
	さんらいず	田坂 嘉朗	障害者支援施設 あかつき学園	志賀 広子
	三和ゆめランド	進藤 文雄	ありえ未来ワークセンター	松永 道弘
	社会福祉法人 福陽会 小浦の里	福田 英夫	社会福祉法人コスモス会	本田 利峰
	ワークあじさい	寺田 隆二	多機能型事業所「エリア21」	辻 英三郎
	社会福祉法人 ゆうわ会	竹内 一	社会福祉法人 ゆめの樹	山崎 美子
	就労継続支援B型事業所 清水の里	北島 正一	ワークプラザ上五島	浦方 松生
	障害福祉サービス事業「陽香里工房」	山田 直子	西海市育成会 グループホーム事業所	佐藤 正明
	わーくさせぼ	岩坪 和香菜	佐世保市育成会 ひかりホーム	
	わらびの里	原田 千津子		



◆安倍首相にとっては思い通りの、いや、それ以上の勝利であったに違いない。突然の解散で始まった師走の衆議院選挙は与党の大勝に終わった。与党は極めて強い基盤を再び手中にした。

ただし、それは決して「何でもできる」力を得たということではない。野党得票数と均衡する中で「自由民主党」にとって都合の良い「小選挙区制度」によるものであり、必ずしも国民の意見が集約されたものではないと。◆首相は自ら「アベノミクス解散」と掲げたが、有権者の期待も景気回復にあるのは明らかであった。景気回復が思わしくないと判断し「3兆円を超える補正予算を」と検討が始まったが、思惑通り地方での景気回復は期待できるのだろうか。疑問も感じる。◆来年10月の消費税10%への引き上げを前提としていた社会保障の充実策は、財政不足にともなう「絞り込み」が15年度予算編成で本格化する。この財源約7000億を見込んだ「子ども・子育て支援新制度」は予定通りスタートするとしているが、「どこまでカバーするかは、これからの話し」とあり当初計画通り進めることができるかは不透明である。また、「高齢者施策から子育て支援に方向性を切り替えるべき」と意見がだされるなど、限られたπの分配をめぐり、論戦が展開されると思われる。◆障害者福祉の切り下げも、遠慮なく提案されることが予想されるが、当事者の生活基盤を守るために力を結集した取組が必要となる。会員皆さんの協力が不可欠である。◆ここに来て、戦後70年に向けた「安倍談話」は、過去の談話に捕らわれない未来志向にしたいと表明。アジア地域のリーダーとして役割を果たしたいとの思いであろう。アジア地区の一員としての役割を果たして欲しいと願うところである。◆最後に、もう一度「福祉の財源は大丈夫ですか」と念を押したい気持ちである。【甲田 記】

◆首相は自ら「アベノミクス解散」と掲げたが、有権者の期待も景気回復にあるのは明らかであった。景気回復が思わしくないと判断し「3兆円を超える補正予算を」と検討が始まったが、思惑通り地方での景気回復は期待できるのだろうか。疑問も感じる。◆来年10月の消費税10%への引き上げを前提としていた社会保障の充実策は、財政不足にともなう「絞り込み」が15年度予算編成で本格化する。この財源約7000億を見込んだ「子ども・子育て支援新制度」は予定通りスタートするとしているが、「どこまでカバーするかは、これからの話し」とあり当初計画通り進めることができるかは不透明である。また、「高齢者施策から子育て支援に方向性を切り替えるべき」と意見がだされるなど、限られたπの分配をめぐり、論戦が展開されると思われる。◆障害者福祉の切り下げも、遠慮なく提案されることが予想されるが、当事者の生活基盤を守るために力を結集した取組が必要となる。会員皆さんの協力が不可欠である。◆ここに来て、戦後70年に向けた「安倍談話」は、過去の談話に捕らわれない未来志向にしたいと表明。アジア地域のリーダーとして役割を果たしたいとの思いであろう。アジア地区の一員としての役割を果たして欲しいと願うところである。◆最後に、もう一度「福祉の財源は大丈夫ですか」と念を押したい気持ちである。【甲田 記】



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者（本人・家族）に関する教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全日本手をつなぐ育成会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」のために役立つ情報誌です。年間 3,600円 B5版 48ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

病気・ケガの入院

個人賠償補償

被害事故の解決

障がいのあるご本人と、そのご家族・施設従事者のための総合保険です。

ぜんちの

あんしん保険

平成25年料率改定

少額短期健康総合保険(無給付型)2012年創設

※この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際は必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。

保障内容(A-1プランの場合 年間保険料 17,000円)

死亡保険金	10万円	法律相談費用	5万円 <small>までの実費</small>
特定重度障害保険金	10万円	弁護士委任費用	100万円 <small>までの実費</small>
入院保険金	1日につき 8,000円 <small>(※1)</small>	接見費用	1万円
入院一時金	10,000円	個人賠償責任保険金	1,000万円 <small>てん補 責任補</small>
傷害通院保険金	1日につき 1,000円 <small>(※1)</small>	※1: 一回の入院または一回の通院につき、30日限度。 ※2: てんかんによる入院の場合は一日につき4,000円となります。	

詳しい資料のご用命は、下記代理店へお願いいたします。

○取扱代理店

有限会社トータルサービス  
(担当: 向井)

TEL 095-832-2430

〒850-0033 長崎市万才町6-35 三井生命長崎ビル5階

○引受保険会社

ぜんち共済株式会社  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-8  
岩本町シティプラザビル 5F